

だんだん

できたよツリー!

子どもたちの見つめる先はアーティスト菊池歩さん(中央)制作のクリスマスツリーの先端。最後の仕上げに銀の蝶(ちよう)を取り付けるところです。松之山保育園の園児たちが作った紙粘土の精霊たちも、ツリーといっしょに東京に旅立ち、クリスマスを彩りました。(P16参照)



主な内容

- [特集] 多様な生き物が米を育てる … 2-3
～産地米ブランド化に向けて/第12回里山学会開催～
- 2006年を振り返る …………… 4-5
- 大地の芸術祭実行委員会議開催 …………… 6
- 分庁舎に住民票等発行コーナーを開設 …………… 7
- 職員給与をお知らせします …………… 8-11
- 地域の風～支所からのたより～ …………… 12-13
- oh! my クラス なじよもなじよも ほか… 14-15
- まちの話題 TOPICS …………… 16-18
- お知らせ・ガイド …………… 19-23
- イチオンマップーおもしろ冬の行事ー …………… 24

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

特集 多様な生き物が米を育てる

～産地米ブランド化に向けて／第12回里山学会開催～

12月2日(土)、森の学校・キョロ口で第12回里山学会「お米の付加価値と生き物の多様性～産地米のブランド化に向けて～」(市立里山科学館キョロ口主催)が開催されました。これは独立行政法人科学技術振興機構の「理数大好きモデル事業」の助成を受けて実施されたもので、市内外から約80人が参加しました。2つの講演とパネルディスカッションの主な内容を紹介します。



演 「IBM…ただの虫を無視しない農業」
日本応用動物昆虫学会 名誉会員 桐谷圭治氏

IBMというのはコンピュータのことではありません。総合的生物多様性管理の略称です。日本の水田は、減反の推進により1970年代の約半分、170万haにまで落ち込んでいます。水田の機能には国土保全・地域社会の維持などのほか、生物保全機能もあります。水田面積が減るといことは生物多様性維持の危機にもつながるわけです。
今、盛んに外来昆虫が日本に入っ

演 「米、市場、状況から見たこれからの地域ビジョン」
米・食味鑑定士協会 会長 鈴木秀之氏

今、日本の米屋さんの店頭に並んでいる95%は、「秋田産」「宮城産」などの産地ブランド米です。これは価格で売れるやり方で、一番のブランド「魚沼産」も含めて早晚安売り競争に巻き込まれます。安く売れることはだれにでもできますし、これはブランドを維持できません。これからは、「安全な米」「食味日本一」など、健康・グルメなどのテーマで売る方法が変わってきます。キーワードは「本物・環境・景観」で

パネルディスカッション
「お米の付加価値と生き物の多様性」
～産地米のブランド化に向けて～

●パネリスト
桐谷圭治氏
鈴木秀之氏
田中富士雄氏 (グリーンハウス里美代表)
山岸勝氏 (NPO魚沼ゆき代表)
澤島拓夫氏 (株当間高原リゾート研究員)

●コーディネーター
池内了氏 (総合研究大学院大学教授)

都市と連携して 耕地を守る



田中 牛馬で田を耕した世代の生き残りとして、その体験を生かそうと9年前からグリーンツーリズムを実施しています。

田舎体験事業や大地の芸術祭で今年はいっぱい人がきましたが、数年後を見えろと課題は山積です。「美しい棚田」も、ススキ原になってしまえばカメラマンも来なくなる。今の耕地面積をどう守るかが大きな問題。空き家プロジェクトの取り組み



山岸 今、盛んに行われている農業体験は、現在の作業を体験させています。実際には、田植機やコンバインに頼って米作りをしています。完全に昔に戻ることにはできません。

この地に合ったものを作る

も含めて、都会の人たちと連携して点から面へ、また持続可能な取り組みにする必要があります。今、かやぶき民家の再生に取り組んでおり、手伝いに来てくれた人には3年先の宿泊券を配っています。農作業も、4時間手伝うと米1kgをあげるというシステムにしています。今後、もっともつとそういう世界を広げたいと思っています。

虫に限らず植物も多様性が必要だと思います。もともとこの地に根ざし、この地に合ったものを育てることが大事でしょう。ブランドは作るものではなく、自然に生まれるもの。現実を見ながら農業や生産資材を減らすなど、できることから始めるのがいいと思います。究極は農薬も肥料もいらぬ無農薬・無肥料栽培。現在、種もみを雪の



澤島 現代は、何でも映像をとおして見ることができず、本物に触れる機会はありません。この地域は、信濃川の西側に多いクロサンショウオは東側には少ないなど、地域の中でも生態が異なっていることが多く、生きた体験学習の宝庫です。

農業用と観光用のキノコの違い

中で保存・選別する雪浸にも取り組んでおり、これからの仲間を増やしながら続けていきたいと思っています。

キノコの栽培でも、農業用は一斉に出る品種が良く、観光用は長い時間を置いて出る品種、つまり天然ものが良いなど、まさに多様性が必要です。生き物や農業分野では、まだまだ研究・改良の余地があります。

赤トンボが増えなくても 困らない

桐谷 害虫を減らすためには天敵を増やせばいいという議論や実践がありますが、天敵を増やすためには害虫も増やさなくてはならないという悪循環になってしまいます。害虫でも益虫でもない、ただの虫にも目

ただの里山を宝の里山に

鈴木 地域だけ、魚沼だけ、日本だけ視野に入れてもブランドはできません。いろんな人と手をつなぐことで可能性は広がる。「生き物の多様性と水」「温泉」それに「景観」という米以外の抜群の資源を持っている松之山は、ちよつとした取り組みでただの里山を宝の里山に変えることができます。人がやっていないこと・人が喜ぶことをすぐにやること

多様な生き方へ



池内 この地域の生き物の多様性と、同じように、生き方の多様性もあると思います。各パネリストの生き方・提言をもとに、産地米のブランド化や新しい付加価値を付けた農業・生き方への取り組みが期待されます。

10月14日～18日の間、U-19サッカー日本代表候補のアジアユース選手権事前合宿が行われました。



願入集落の古民家を再生した「うぶすなの家」は、連日多くの鑑賞者でにぎわいました。



大地の芸術祭 year 2006年を振り返る



世界の約40の国と地域から200組の作家の作品が集結した第3回大地の芸術祭は、史上最大規模で展開されました。(7月23日開会式)

世界に通用する新しい日本ブランドとして創設された新日本様式100選に、芸術祭作品川西ステージ「光の館」が選定されました。(10月30日)



第2回十日町市体育協会体育祭

市民一人ひとりが健康に対する自覚と認識を深め、生涯を通してスポーツに親しみ、健全でたくましい心と体を作ることを目的に「十日町市スポーツ健康都市宣言」が行われました。(10月9日)



中里地域の3つの保育園が統合し、中里なかよし保育園が開園しました。(10月1日)



ふるさとの息吹2006で上演された松之山上山川手歌舞伎保存会による郷土芸能。市無形文化財として大切に継承されています。(11月4日)

豪雪に明け、大地の芸術祭でにぎわった2006。多くの思い出を刻んで新たな一歩を踏み出す十日町市の2006年を振り返ります。

2006主なできごと

- 1月
 - ◆豪雪災害対策本部並びに現地対策本部設置
 - ◆市災害救助条例・県災害救助条例及び災害救助法適用
 - ◆自衛隊員及び県内消防団が除排雪応援
 - ◆エフエム十日町開局
 - ◆スキー王国十日町 全国大会で金メダルラッシュ
 - ◆第1回市民スキー選手権大会
 - ◆第57回十日町雪まつり
 - ◆雪掘りボランティア各地域で活躍
 - ◆越後田舎体験「オーライ!ニッポン大賞」受賞
 - ◆キナーレ明石の湯入館者30万人達成
 - ◆十日町市男女共同参画フォーラム「とおかまち発!未来行き」
 - ◆新潟県建設業協会十日町支部と市・津南町が災害時応援協定締結
 - ◆18年産米の生産目標数量2万439・79トン配分
 - ◆第20回かわにし雪まつり
 - ◆第18回雪原カーニバルなかさと2006
 - ◆第19回越後まつり冬の陣
 - ◆第23回松之山温泉スキー場カーニバル
 - ◆新十日町市誕生記念「歴史文化講演会」
 - ◆平成17年度市政功労者表彰に71人
 - ◆貝野保育園・倉俣保育園・清津峡保育園閉園
 - ◆中越大震災で破損した国宝火焔型土器などの修復完了
 - ◆千手温泉・千年の湯入館者100万人達成
 - ◆千手中央コミュニティセンター開館・賑わい空間総合しゅん工
 - ◆十日町市行政創造プラン策定
 - ◆中里地域放課後児童健全育成事業(学童保育)スタート
 - ◆十日町市成人式・第30回十日町きものまつり
- 2月
 - ◆スキー王国十日町 全国大会で金メダルラッシュ
 - ◆第1回市民スキー選手権大会
 - ◆第57回十日町雪まつり
 - ◆雪掘りボランティア各地域で活躍
 - ◆越後田舎体験「オーライ!ニッポン大賞」受賞
 - ◆キナーレ明石の湯入館者30万人達成
 - ◆十日町市男女共同参画フォーラム「とおかまち発!未来行き」
 - ◆新潟県建設業協会十日町支部と市・津南町が災害時応援協定締結
 - ◆18年産米の生産目標数量2万439・79トン配分
 - ◆第20回かわにし雪まつり
 - ◆第18回雪原カーニバルなかさと2006
 - ◆第19回越後まつり冬の陣
 - ◆第23回松之山温泉スキー場カーニバル
 - ◆新十日町市誕生記念「歴史文化講演会」
 - ◆平成17年度市政功労者表彰に71人
 - ◆貝野保育園・倉俣保育園・清津峡保育園閉園
 - ◆中越大震災で破損した国宝火焔型土器などの修復完了
 - ◆千手温泉・千年の湯入館者100万人達成
 - ◆千手中央コミュニティセンター開館・賑わい空間総合しゅん工
 - ◆十日町市行政創造プラン策定
 - ◆中里地域放課後児童健全育成事業(学童保育)スタート
 - ◆十日町市成人式・第30回十日町きものまつり
- 3月
 - ◆スキー王国十日町 全国大会で金メダルラッシュ
 - ◆第1回市民スキー選手権大会
 - ◆第57回十日町雪まつり
 - ◆雪掘りボランティア各地域で活躍
 - ◆越後田舎体験「オーライ!ニッポン大賞」受賞
 - ◆キナーレ明石の湯入館者30万人達成
 - ◆十日町市男女共同参画フォーラム「とおかまち発!未来行き」
 - ◆新潟県建設業協会十日町支部と市・津南町が災害時応援協定締結
 - ◆18年産米の生産目標数量2万439・79トン配分
 - ◆第20回かわにし雪まつり
 - ◆第18回雪原カーニバルなかさと2006
 - ◆第19回越後まつり冬の陣
 - ◆第23回松之山温泉スキー場カーニバル
 - ◆新十日町市誕生記念「歴史文化講演会」
 - ◆平成17年度市政功労者表彰に71人
 - ◆貝野保育園・倉俣保育園・清津峡保育園閉園
 - ◆中越大震災で破損した国宝火焔型土器などの修復完了
 - ◆千手温泉・千年の湯入館者100万人達成
 - ◆千手中央コミュニティセンター開館・賑わい空間総合しゅん工
 - ◆十日町市行政創造プラン策定
 - ◆中里地域放課後児童健全育成事業(学童保育)スタート
 - ◆十日町市成人式・第30回十日町きものまつり
- 4月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 5月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 6月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 7月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 8月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 9月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 10月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 11月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜
- 12月
 - ◆ゆくら妻有入館者100万人達成
 - ◆大貝トンネル・白倉大橋開通
 - ◆新・青少年育成十日町市民会議設立
 - ◆千年―池尻間新大橋しゅん工
 - ◆十日町市総合計画・基本構想策定
 - ◆千手温泉・千年の湯が公共建築賞優秀賞を受賞
 - ◆サッカーJ1アルビレックス新潟が当間高原でキャンプ
 - ◆第64回国民体育大会新潟県開催正式決定
 - ◆十日町市情報化推進会議設立
 - ◆第3回大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願「妻有観世能」公演
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆第12回十日町石彫シンポジウム
 - ◆第3回大地の芸術祭 世界太鼓フェスティバル
 - ◆市内郵便局・十日町電気工事協同組合・イオン(株)ジャスコ十日町店と市が災害時応援協定締結
 - ◆市民と市長の対話 まち・むらトークが市内12箇所で開催
 - ◆第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006開幕
 - ◆(株)エフエムとおかまち・(株)アクティオ・(株)ニッパンレンタール・(株)BIGRENTALと市が災害時応援協定締結
 - ◆名誉市民上村正子氏逝去
 - ◆市役所本町分庁舎開庁
 - ◆中里なかよし保育園開園
 - ◆中里支所庁舎開所
 - ◆十日町市スポーツ健康都市宣言
 - ◆サッカーU-19日本代表候補が当間高原でキャンプ
 - ◆全日本女子レスリングナショナルチームが表敬訪問
 - ◆中越大震災から2年、市内各地で防災訓練やイベント実施
 - ◆「農」ではばたけ!元気な農村づくりシンポジウム
 - ◆野中小学校閉校式
 - ◆「光の館」新日本様式100選に選定
 - ◆郷土芸能文化公演「ふるさとの息吹2006」
 - ◆中条小学校枯木又分校閉校式
 - ◆第8回信濃川水なしサミット〜川はだれのもの〜



平成10年から8年の歳月をかけて取り組まれてきた「賑わい空間創出事業」は、川西地域の振興の核として動きだしました。(4月6日)



松代・松之山地域で展開されていた越後田舎体験は、今年から十日町地域でも実施されることになりました。



2年続きの大雪となった今年、自衛隊やボランティア団体による雪掘り応援が市内に駆けつけました。(1月10日)

分庁舎に住民票等発行コーナーを開設します

平成19年1月4日(木)から



分庁舎で住民票などを発行します

市役所本町分庁舎で住民票・戸籍などの証明書を発行します。

●発行する証明書など＝

住民票の写し、住民票の記載事項証明書、印鑑登録証明書、公的年金の現況届の証明、戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）、除籍全部事項証明（除籍謄本）、除籍個人事項証明（除籍抄本）、改製原戸籍謄本・抄本、戸籍の附票の写し、身分証明書、外国人登録原票記載事項証明書

●取扱時間＝午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）

1月から情報館出張所が情報館住民票等発行コーナーに名称が変わります

取扱い業務は今までと変わりません。

●発行する証明書など＝

住民票、戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）、戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）、印鑑登録証明書

●取扱日・時間＝

土・日曜日、祝日（年末・年始は除く）の午前9時30分～午後5時

※1月13日(土)、14日(日)は蔵書点検のため取扱いできません。

お住まいの地域に関係なく、本庁、支所、出張所及び住民票等発行コーナーのどの窓口でも証明書の交付を受けることができます。（ただし、その窓口で発行できるものに限ります）
●問合せ=市民生活課市民係（内線153）



携帯電話からの119番通報は、通報する場所により聞き取りにくいことがあります。また、通報者がその土地の地理に詳しくない場合もあり、こちらが場所の特定に時間を要することもあります。

携帯電話で通報するときは、次のことに注意してください。

①住所や目標物となる建物など、場所を特定できる情報を提供してください。

②通報後、消防本部から情報の確認をすることがあるので、すぐに電話を切らないでください。

※市町境界域では、携帯電話からの119番通報が、通信事業者のアンテナの設置位置などにより、隣接する消防本部へつながることがあります。この場合は接続された消防本部から消防本部へ転送されます。詳しくは問い合わせてください。

携帯電話からの119番通報

●問合せ 十日町地域消防本部 ☎757-0119



第3回大地の芸術祭を総括 大地の芸術祭 実行委員会会議開催

第3回大地の芸術祭の総括報告（冊子）は、一般公開しています。希望者は、十日町地域広域事務組合企画振興課（☎757-2637）までご連絡ください。

実行委員会では今後、これらの意見も参考にして芸術祭の規模・内容や望ましい運営体制などについて検討をしていきます。結果がまとまりしだい、市報でお知らせしていきます。

12月2日(土)、情報館で「平成18年度大地の芸術祭実行委員会」が開催され、委員など約40人が出席しました。会議の冒頭、実行委員長の田口市長は、「多くの皆さんの協力を得て、期間中約35万人という過去最高の入り込みを達成することができました。地域に定着しつつ大きな弾みになってきていると思います。今回の成果を踏まえて、今後も芸術祭を開催していくべきと考えています」とあいさつしました。

会議では、第3回の会期である平成16年度から18年度までの決算見込みや事業総括が説明され、その中で計56億円余りの経済波及効果（推計）が期待できることが報告されました。委員からは、「会期中だけでなく、通年での誘客・PRができないか」「地元も受け入れるので、引き続き行政が中心になってもらいたい」「妻有ブランドを生かした産業づくりができるのでは」「消費や宿泊で経済効果が大きい」との発言がありました。

第3回大地の芸術祭決算見込み (期間：平成16年度～平成18年度)

項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	合計
歳入	県負担金	29,572	32,972	43,856	106,400
	市町負担金	46,000	51,000	72,250	169,250
	緊急雇用補助金	12,900	-	-	12,900
	共通バス販売収入	-	-	143,110	143,110
	寄付金	-	2,068	211,400	213,468
	その他国県負担金・補助金	-	-	3,197	3,197
	その他雑入	685	2,306	12,936	15,927
繰越金等	799	1,292	4,056	6,147	
計	89,956	89,638	490,805	670,399	
歳出	運営費（作品設置・イベント開催・広報宣伝、等）	69,556	82,138	462,528	614,222
	緊急雇用（スタッフ人件費）	12,900	-	-	12,900
	コーディネーター費	7,500	7,500	12,000	27,000
	計	89,956	89,638	474,528	654,122

※平成18年度歳入、歳出との差額（16,277千円）は、繰越し見込み。

■職員の初任給の状況

(平成18.4.1現在)

区分	十日町市	新潟県	国
一般行政職	大学卒	170,200円	176,800円
	高校卒	138,400円	142,800円
			(I種) 179,200円 (II種) 170,200円 (III種) 138,400円

※初任給は、それぞれの区分の学校卒業後すぐに採用された場合の月額です。
 ※初任給については、十日町市の独自減額前の数字です。
 ※十日町市では、平成18年4月から2年間、市長7%、助役・収入役・教育長5%、支所長および一般職員は給料の2%を独自に減額しており、これにより2年間で約1億2,000万円の人件費削減を予定しています。

■職員手当の状況

(平成18.4.1現在)

区分	十日町市の内容	県の内容	国の内容
毎月決まって支給	扶養手当 ●配偶者……………13,000円 ●その他2人目まで……………各6,000円 ●3人目以降……………5,000円 住居手当 ●借家…月額12,000円を超える家賃を支払っている場合、家賃の額に応じて最高27,000円 ●持家…新築・購入後の5年間…2,500円 通勤手当 ●交通機関(電車・バス等)利用者…負担している運賃の額に応じて1か月あたり最高55,000円 ●交通用具(自動車等)利用者…片道の距離に応じて最低(2km以上5km未満)2,000円、最高(60km以上)24,500円	当市と同じ ●借家…月額10,000円以上の家賃の場合最高27,000円 ●持家…2,500円 ●電車・バス等利用者…同じ ●自動車等利用者…最高32,900円	当市と同じ
勤務実績に応じて支給	時間外勤務手当 時間外勤務を命じられた場合に支給 特殊勤務手当 <ul style="list-style-type: none"> ●著しく危険、不快または不健康、その他著しく特殊な勤務に従事したときに支給 ・徴収手当・滞納処分手当・用地交渉手当・行旅死病人取扱手当 ・保健手当・防疫等作業手当・動物死体処理手当・雪害作業手当 ・放射線取扱作業手当 ・特地診療手当・休日診療手当・介護認定審査会手当 	同じ 同様の手当あり なし	同じ 同様の手当あり なし

区分	支給割合	期末手当	勤勉手当
その他	6月期	1.4月分	0.725月分
	12月期	1.6月分	0.725月分
計	計	3.0月分	1.450月分
その他	職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり		
寒冷地手当	●世帯の状況に応じて最高月額17,800円(11月から3月まで支給) ※支給額の減額改定に伴い経過措置があります		
退職手当	(支給率) 自己都合 勤続20年 23.50月分 勤続25年 33.50月分 勤続35年 47.50月分 最高限度額 59.28月分	勤奨・定年 30.55月分 41.34月分 59.28月分 59.28月分	勤奨・定年 30.55月分 41.34月分 59.28月分 59.28月分
	その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)		

区分	給料月額など	期末手当
給料	市長 774,900円 助役 617,500円 収入役 563,100円 教育長 563,100円 参与(支所長) 519,400円	(18年度支給割合) 3.3月分
報酬	議長 392,000円 副議長 316,000円 議員 300,000円	(18年度支給割合) 3.3月分

■特別職の報酬などの状況

(平成18.4.1現在)

区分	給料月額など	期末手当
給料	市長 774,900円 助役 617,500円 収入役 563,100円 教育長 563,100円 参与(支所長) 519,400円	(18年度支給割合) 3.3月分
報酬	議長 392,000円 副議長 316,000円 議員 300,000円	(18年度支給割合) 3.3月分

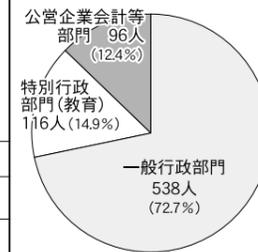
※4役および参与の給料については、十日町市の独自減額後の数字です。



■部門別職員数の状況

(平成18.4.1現在)

部門	区分	職員数(平成18年)	職員数(平成17年)
一般行政部門	議会	6	6
	総務企画	125	124
	税務	42	45
	民生	148	158
	衛生	60	63
	労働	3	4
	農林水産	60	61
	商工	27	30
	土木	67	67
	小計	538	558
特別行政部門	教育	116	114
普通会計	654	672	
会計部門	病院	16	15
	水道	28	28
	下水道	27	28
	その他	25	24
小計	96	95	
合計	750	767	



※職員数は特別職以外の一般職に属する職員数で、派遣法に基づき他団体に派遣されている職員や特別会計の職員を含みます。

市民の皆さんのご理解をいただくため、十日町市及び十日町地域広域事務組合の給与・定員管理などをお知らせします。

■平成18年度職員給与費の状況(普通会計予算)

職員数(A)	給与費				1人あたり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
652人	25億4,206万9,000円	3億5,310万8,000円	10億5,058万0,000円	39億4,575万7,000円	605万1,775円

※1 普通会計から支出する職員の給与です。
 ※2 職員手当には退職手当を含みません。
 ※3 給与費は9月補正予算に計上された額です。

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成18.4.1現在)

区分	標準的な職務内容	職員数(人)	構成比(%)
7級	支所長・課長・局長	2	0.4
6級	課長・局長・室長	30	6.2
5級	課長・参事・課長補佐	68	14.1
4級	課長補佐・副参事・係長・主査・主査技師	145	30.0
3級	係長・主査・主査技師・主任・主任技師	132	27.3
2級	主事・技師	73	15.1
1級	主事・技師	33	6.9
計		483	100.0

※1 十日町市の条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
 ※2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。
 ※3 「一般行政職」には、国での給料表が異なる職員(税務職・福祉職)は含みません。

■職員の平均年齢、平均給料月額

(平成18.4.1現在)

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
十日町市	43.9歳	330,600円	49.3歳	297,100円
新潟県	43.0歳	357,549円	46.9歳	347,496円
国	40.4歳	328,477円	48.4歳	286,500円

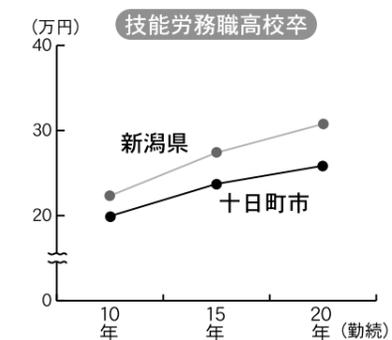
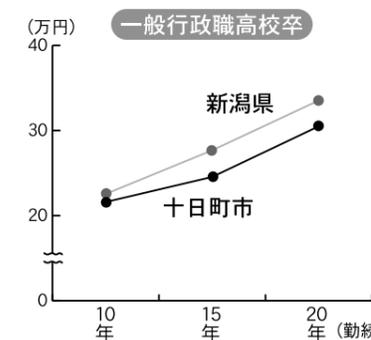
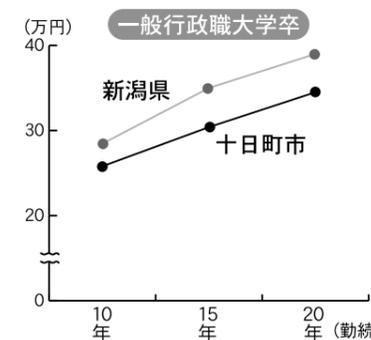
※平均給料月額は、十日町市の独自削減後の数字です。

■職員の経験年数別・学歴別平均給料月額

(平成18.4.1現在)

区分	学歴	十日町市			新潟県		
		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	258,500円	304,257円	347,150円	284,606円	350,029円	390,489円
	高校卒	(勤続年数11年) 216,140円	245,550円	(勤続年数21年) 305,000円	225,609円	276,840円	335,353円
技能労務職	高校卒	(勤続年数7~12年) 199,400円	(勤続年数15~17年) 237,300円	(勤続年数19~21年) 258,680円	223,344円	274,106円	307,775円

※1 経験年数は、十日町市に採用される前に民間企業などの勤務経験がある場合は、その期間を換算し採用後の年数に加えた年数です。学校卒業後すぐに採用されている場合は、採用後の年数です。
 ※2 新潟県の経験年数区分に該当する職員が3人未満の場合は、()の勤続年数の職員の平均額を比較しました。



十日町地域広域事務組

■職員の初任給の状況

(平成18.4.1現在)

区分	十日町地域広域事務組合	新潟県	国
一般行政職	大学卒	170,200円	176,800円 (Ⅰ種) 179,200円 (Ⅱ種) 170,200円
	高校卒	138,400円	142,800円 (Ⅲ種) 138,400円
消防職	大学卒	187,800円	
	高校卒	156,200円	
医療職	大学卒	201,900円	

※初任給は、それぞれの区分の学校卒業後すぐに採用された場合の月額です。
 ※初任給については、十日町地域広域事務組合の独自減額前の数字です。
 ※十日町地域広域事務組合では、平成18年4月から2年間、十日町市と同様に一般職の職員給料を2%減額しています。

■職員手当の状況

(平成18.4.1現在)

区分	十日町地域広域事務組合の内容	県の内容	国の内容
毎月決まって支給	扶養手当 ●配偶者………13,000円 ●その他2人目まで………各6,000円 ●3人目以降………5,000円	当組合と同じ	
	住居手当 ●借家…月額12,000円を超える家賃を支払っている場合、家賃の額に応じて最高27,000円 ●持家…新築・購入後の5年間…2,500円	●借家…月額10,000円以上の家賃の場合最高27,000円 ●持家…2,500円	当組合と同じ
	通勤手当 ●交通機関(電車・バス等)利用者…負担している運賃の額に応じて1か月あたり最高55,000円 ●交通用具(自動車等)利用者…片道の距離に応じて最低(2km以上5km未満)2,000円、最高(60km以上)24,500円	●電車・バス等利用者…当組合と同じ ●自動車等利用者…最高32,900円	

勤務実績に応じて支給	夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後10時から午前5時までの間に勤務した職員に対し支給	当組合と同じ	当組合と同じ
	休日勤務手当	休日等に勤務した職員に対し支給		
	時間外勤務手当	時間外勤務を命じられた場合に支給		
特殊勤務手当		●著しく危険、不健康等の業務に従事したときに支給 ・災害出動手当・夜間消防手当・緊急車運転手当 ・家畜指導診療業務手当	同様の手当あり	同様の手当あり

その他	期末・勤勉手当	支給割合 6月期 1.4月分 12月期 1.6月分 計 3.0月分	期末手当 1.4月分 1.6月分 3.0月分	勤勉手当 0.725月分 0.725月分 1.450月分	当組合と同じ	当組合と同じ	
	寒冷地手当	職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり					
他	退職手当	●世帯の状況に応じて最高月額17,800円(11月から3月まで支給) ※支給額の減額改定に伴い経過措置があります			当組合と同じ	当組合と同じ	
		(支給率) 勤続20年 21.00月分 勤続25年 23.50月分 勤続35年 33.50月分 最高限度額 59.28月分	自己都合 21.00月分 23.50月分 33.50月分 59.28月分	勸奨・定年 30.55月分 41.34月分 59.28月分 59.28月分			
		その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)					



■部門別職員数の状況

(平成18.4.1現在)

部門	区分	職員数(平成18年)	職員数(平成17年)
一般行政部門	組合事務局	3	3
消防部門	消防本部	20	20
	消防署(本署)	42	42
	西分署	16	16
	南分署	17	17
	松代分遣所	10	10
	松之山分遣所	10	10
小計		115	115
医療部門	家畜指導診療所	3	3
合計		121	121

※1 一般行政部門に企画振興課職員(組合構成市町より派遣)は含まれません。
 ※2 消防部門の消防本部には新潟県消防学校等への入校職員を含んでいます。

■平成18年度職員給与費の状況(普通会計予算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
121人	4億7,368万6,000円	1億8,223万4,000円	1億3,194万5,000円	7億8,786万5,000円	651万1,280円

※1 普通会計から支出する職員の給与です。
 ※2 職員手当には退職手当を含みません。
 ※3 給与費は6月補正予算に計上された額です。

■職員の平均年齢、平均給料月額

(平成18.4.1現在)

区分	一般行政職		消防職		医療職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
十日町地域広域事務組合	38.3歳	295,400円	40.2歳	320,800円	40.3歳	328,500円
新潟県	43.0歳	357,549円				
国	40.4歳	328,477円	42.1歳	339,564円	42.3歳	324,544円

※1 平均給料月額は、十日町地域広域事務組合の独自削減後の額です。
 ※2 消防職・医療職については、国はそれぞれ公安職(一)、医療職(二)で掲載しています。
 ※3 当組合の医療職については、給料の調整額(獣医師)を含んでいます。

■職員の経験年数別平均給料月額の状況

(平成18.4.1現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
消防職	231,940円 (勤続年数9~11年)	279,433円 (勤続年数14~16年)	322,260円 (勤続年数19~21年)

※1 一般行政職及び医療職は職員数が少ないため掲載していません。
 ※2 平均給料月額は、十日町地域広域事務組合の独自削減前の額です。
 ※3 経験年数は、当組合に採用される前に民間企業などの勤務経験がある場合は、その期間を換算し採用後の年数に加えた年数です。学校卒業後すぐに採用されている場合は、採用後の年数です。

■特別職の報酬の状況

(平成18.4.1現在)

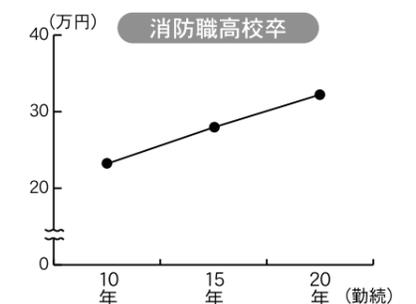
区分	報酬年額	区分	報酬年額
報 酬	管理者 32,000円	消防団長 112,500円	
	副管理者 30,000円	副団長 85,000円	
	収入役 30,000円	分団長 55,500円	
報 酬	会議議長 32,000円	副分団長 41,000円	
	副議長 30,000円	部長 34,200円	
	議員 30,000円	班長 24,000円	
		団員 18,000円	

■一般行政職の級別職員数の状況

(平成18.4.1現在)

区分	標準的な職務内容	職員数(人)	構成比(%)
一般行政職	4級 副参事	1	33.4
	3級 主任	1	33.3
	1級 主事	1	33.3
	計	3	100.0
消防職	7級 消防監	1	0.9
	6級 消防司令長	1	0.9
	5級 消防司令長・消防司令	5	4.3
	4級 消防司令・消防司令補	46	40.0
	3級 消防士長・消防副士長	22	19.1
	2級 消防副士長・消防士	29	25.2
	1級 消防士	11	9.6
計	115	100.0	
医療職	5級 家畜指導診療所長	1	33.4
	4級 主任獣医師	1	33.3
	2級 獣医師	1	33.3
計	3	100.0	

※1 十日町地域広域事務組合の給与と条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
 ※2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。





清津峡溪谷トンネル内を散策

12月8日(金)、清津峡小出温泉「清津館」でなかさと清津観光協会主催による清津峡俳句会が開催され、市内から18人が参加しました。中里地域には観光名所が多く、なかでも上信越高原国立公園「清津峡」は、紅葉時期や初雪のころには風情豊かな景観を目当てに大勢の観光客

冬の溪谷美を詠む 清津峡俳句会開催

が訪れる観光スポットとなつていきます。今回の句会は俳句の愛好者から清津峡の「今このとき」を詠んでもらおうと計画されたものです。俳句会の一行は、清津峡溪谷トンネルを散策しながら、初冬の清津峡、雄大な溪谷美などさまざまな思いを込めた54句を詠みました。そして、清津館で清書、発表が行われました。参加者からは、「次は早春の清津峡を詠みたいね」と次回開催を楽しみにする声もありました。

今回の作品は、清津峡溪谷トンネル内に1年間掲示する予定です。

ながさき通信

中里支所
☎763-3111

【作品を紹介します】
溪谷の美に立ちならぶ冬帽子
清津峡大溪谷の山眠る
米持参湯治なつかし冬の宿
景勝の雪を被ればなお更に
徒ならぬ空の重きよ峡に冬

まつだいたい

松代支所
☎597-2220

3月10日(土) 11日(日)開催 第20回記念越後まつだいたいの陣

「雪上みこし」 活き生き合戦

ユニークなものから本格的なものまで、仲間のみこしを作って参加してみませんか。

◆日時：3月10日(土)午後7時～
◆参加資格：十日町市・津南町・旧高柳町に在住または勤務する人を代表



雪上みこしが勇壮に会場を練り歩く

「新婚さんトークライブ」 参加カップル募集

新婚さんと楽しいトークの後は、鳥追いの子どもたちといっしょに賽の神に点火します。

◆日時：3月10日(土)午後6時～
◆参加資格：市内在住で平成18年中に結婚したカップル。
◆記念品：カップルで記念撮影後写真立てにして贈呈します。
◆受付：1月9日(火)～
◆募集数：先着5組

松代の自然

11月25日(土)、まつだいたい農舞台主催の「松代城山の里づくり」に参加しました。ワークシヨップで城山の真下の辺りを登って行く途中、かんがい用の小さな池の中に、ヨシ、カササゲなどに交じってマコモが多く生えているのを確認しました。以前は、室野と儀明の間にある「茶屋ノ池」にも植生していましたが、現在は絶滅しています。



マコモ

マコモは方言名で「カツボ」とい、昔の人たちは狐に編んで、芋(織物の原料)を保存するために使っていたそうです。また、地域のお年寄りには、子どものころに太い根元の茎をかじって甘い汁を吸ったと伝えていいます。いま評判の『マコモタケ』という野菜は、黒穂菌の作用で肥大化したマコモの茎を食べるもので、主に東南アジアから輸入されています。

ワークシヨップの後は、松代城に集まり、城山の里づくりについて、周辺の活用を真剣に討議しました。(文 高橋八十八)

『のつとれ!松代城』 出場戦士募集

会場から約3km先の松代城まで、さまざまな難所を乗り越えて行く雪上鉄人レースです。

◆日時：3月11日(日)午前11時出陣
◆出場資格：高校生以上の男女
◆参加費：3,000円
◆賞品：優勝者には1年間松代城城主を認定し地元産コシヒカリ一石(150kg)を贈呈。そのほか完走者には抽選で島流しの刑(ハワイ旅行)や釜茹での刑(芝峠温泉宿泊)など20回を記念して多数賞品を用意しています。



雪上を駆け抜ける!

◆申込み・問合せ
越後松代幕府本陣(松代支所内)
〒942-1592 十日町市松代3252-1
TEL 597-2220 FAX 597-2526
Eメール:ms-chiki@city.tokamachi.niigata.jp

中里の がらぼー いるぜの!

地域の健康のために
こぶし会

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、現在27人で地域の食生活改善に取り組んでいます。会が結成されたのは昭和49年。当時の中里村は脳卒中の発生率が大変高く、食生活の中で塩分の取りすぎや栄養のバランスといったことは考えもしない時代でした。そのような時代の中、十日町保健所が開催した栄養教室の受講生が声をかけ合い、栄養改善推進員組織を結成しました。会の名前は、春早く真っ白な花を咲かせるこぶしの可憐な清楚さにあやかり「こぶし会」と決まりました(翌年、県の食生活改善推進委員協議会に加入)。



食生活改善で地域に貢献

現在までの活動は集落栄養指導事業、糖尿病教室事業や乳幼児健診など多岐にわたっています。また、研修会や講習会などに参加し、食生活改善に向けた知識や技術を培ってきました。そのほかに中里地域のイベント(雪原カーニバルなど)への協力、食の文化祭への参加なども行ってきました。

いつしよに活動しませんか?

食は健康づくりの基本です。食生活改善推進員として、私たちといっしょに食を通じた地域の健康づくりのお手伝いをしませんか?興味のある人はぜひご連絡ください。

◆問合せ：中里支所健康福祉課健康支援係 ☎763-3121



雪を生かしてエネルギーに 楽雪フォーラム

12月9日(土)、クロス10で雪から学ぶ楽雪フォーラム2006(県十日町地域振興局主催)が行われました。昨年に次ぐ2回目の今回は「学生による新しい『雪』利用の取り組みと研究」をテーマに開催され、市民や企業・団体など約150人が参加しました。講師の(社)氷温協会理事長の山根昭彦氏は「氷温技術からみる雪国の可能性」と題して講演し、0℃から生体が凍るまでの氷温領域で発生する食品のうまみ成分や雑菌の繁殖抑制効果などについて実験データをもとに解説しました。また、松代高校生徒による「松代高校雪冷房プロジェクト」への取り組みや長岡技術科学大学生などによるパネルディスカッションが行われ、雪をエネルギーとして生かした各分野での研究成果が発表されました。

正月飾り作りに挑戦
12月10日(日)、博物館で子ども博物館2「シメナフとハッチンチヨウを作ろう!」が行われ、約20人が集まりました。子どもたちは、3人の講師から稲ワフを編む方法を教えてもらい、博物館友の会の人たちがいっしょに、ひさびさで押しつけたい、足の指ではさみながら、器用にシメナフやハッチンチヨウを作りました。参加した男の子は、「ちょっと難しかったけど楽しかった」と話していました。作品は子どもたちが持って帰り、各家庭で正月飾りとして使われます。



いっしょに作ったよ こころのツリー

12月4日(月)、大地の芸術祭作品「こころの花-あへの頃へ」(中平)の作者菊池歩さんが、松之山保育園(草村慶子園長・園児64人)の園児たちといっしょにクリスマスツリーを作りました(表紙)。菊池さんは、「中目黒あかりまつり・私のクリスマスツリー/12月11日~25日」(東京都目黒区)の招待作家として、約1か月間にわたり旧三省小学校(小谷)でツリーを公開制作。高さ2mの六角すいに星・雪・妻有の人をイメージした無数のビーズ・レースチップがちりばめられた作品は「Pearl Snow, Pearl Tree ~ I Love You」と名付けられました。園児たちはツリーを守るための精霊たちを紙粘土で制作。雪だるまやきのこ、おばけなど100を超える精霊がツリーを守りました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係(☎757-3111内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

tokamachi topics

いらっしゃい!!すぐ近くの「雪国」へ

新潟の冬を楽しんでもらおうと、新潟県と県観光協会主催による「あったかSNOW王国」のキャンペーンが、12月9日(土)・10日(日)の2日間、JR大宮駅で行われました。雪国ならではの「心」「食べ物」「温泉」という温かいもてなしをPRしようと、十日町市を含む8市町が参加したものです。十日町市からは、ミス十日町雪まつりの佐藤茉莉子さんほか関係者が、十日町雪まつりや雪原カーニバル、越後まつだいで冬の陣などのPRにつとめました。1日乗降客約23万人を誇る大宮駅構内では、乗車時間約1時間半で来れる身近な「雪国」の魅力を、多くの人々にアピールすることができました。



12月15日(金)、平成19年の年賀状受け付け開始を祝い、十日町郵便局で年賀状差出しが開始されました。式では、最初に関係者によるくす玉の開投と北越保育園の園児37人による童謡「お正月」の合唱が行われた後、子どもたちが順番に投かん用の箱に年賀状を入れていきました。十日町郵便局の藤沢範雄局長は、「十日町郵便局では1月1日に約40万通の年賀状を配達する予定です。責任をもってお届けしますので、なるべく早めの投かんをお願いします」と話していました。

お正月に届けます



これからは田舎の時代です

12月7日(木)、レポート十日町でほくほく線開業10周年記念講演会(ほくほく線沿線地域振興連絡協議会主催)が開催されました。講師に香月千秋氏(株)JTBパブリッシング第一編集部編集長)と小島隆氏(県観光企画監)を迎えたこの講演会には、ほくほく線沿線の上越市、湯沢町などの観光協会や商工会、県地域振興局の関係者と市民合わせて約100人が訪れました。「田舎の時代がやってくる」と題した香月氏の講演では、「今は“ちょっとした田舎思考”がキーワード。この土地の良いところは何なのかを知りそれを意識的にアピールしていくことが大切です」と話していました。



世界レベルのピアノを堪能

12月10日(日)、市民会館で十日町市民音楽協会タクト自主企画演奏会「ニコライ・トカレフピアノリサイタル」が開催され、約400人が集まりました。ロシア出身のトカレフさんは、現在、チエコ・ブラハ管弦楽団のソリスト(独奏者)として国内外で活躍しています。今回のリサイタルでは、リストやショパンなどの名曲を演奏し聴衆から盛大な拍手を受けていました。演奏を聴いた女性は、「リストのラ・カンパネラは本当に素晴らしいかったです」と話していました。



南国から雪国へようこそ

12月15日(金)、マレーシアからの留学生、アレック・ス・ティン・ミンウェイさん(18歳)が市長を敬訪問しました。ライオンズクラブ国際協会による交換留学生事業の一環として来市したもので、11月末から12月27日(水)まで下条や上越市などでホームステイをしながら地域住民との交流を行っています。下条中学校や十日町高校で生徒と交流したティンさんは、「十日町市の皆さんは、優しくフレンドリーで本当にホッとした」と話していました。



tokamachi topics



校内の活力発信源 松高新聞全国大会へ

第20回県高等学校総合文化祭の高校新聞コンクールで優秀賞(県内4校)を受賞した松代高校新聞委員会が、来年の全国大会に出場します。同委員会が発行する「松高新聞」は本紙と号外を含め年10数回発行されていて、校内や地域の出来事を、特集編集やトピックスで取り上げて特徴を持たせています。委員長の若井典子さん(3年)は「読み手に見やすく、作る方も楽しい新聞を目指しています」と楽しい委員会の雰囲気を話し、副委員長の櫻澤愛さん(3年)は「取材をとおしてみんなの努力や苦勞を知ることができ勉強になります」と新聞作りの奥深さを話します。紙面には、各分野で活躍する生徒への称賛や励ましの言葉も添えられ、校内活動の原動力になっています。

サムライ装束で大トラ退治へ

12月8日(金)、市役所前で十日町警察署と(財)十日町地区安全協会、市の3者による年末の交通安全運動「飲酒運転撲滅!! 飲食店訪問」出発式が行われました。これは虎退治で有名な戦国武将加藤清正のように、大トラ(酔っ払い)の討伐隊を結成し、市内飲食店を巡りながら、飲んだら車に乗らないよう呼びかけたものです。待の装束に着替えた討伐隊を前に、田口市長は「十日町は人口の割に飲酒運転が多く、その傾向を止めなければならない」と話しました。討伐隊一行は全員で囀(なげ)の声を上げた後、市内約70軒の飲食店に飲酒運転撲滅のチラシとノボリ旗を配布し交通安全を呼びかけました。



GUIDE 催し
お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

成人式は5月3日です

19年度の十日町市成人式を5月3日(憲法記念日)午前11時からクロス10で行います。市内に住民登録している新成人には2月中旬に案内文書を送付します。市内に住民登録がない人で参加を希望する人は、生涯学習課または各地区の公民館へ連絡してください。後日案内文書を送付します。●該当者||昭和61年4月2日〜62年4月1日生まれの人の人

成人式運営スタッフ募集

成人式を企画・運営するボランティアスタッフを募集します。新成人の記念となる日を市民の手で作ってみませんか。●対象||高校生以上●申込期限||1月

消防出初式

15日(月)●申込み・問合せ||生涯学習課(☎757-8918)
日時||1月7日(日)・14日(日)・21日(日)・28日(日)午前11時〜11時45分●会場||ドーム中里ききら(ユーマール2階)●入場料||大人200円、中学生以下100円●内容||1月中旬午後9時ころの星空と特集●ミュージック・プラネタリウム||1月中旬午後7時30分〜※日程は決定後市ホームページに掲載します。●問合せ||中里公民館(☎763-2493)

ドーム中里ききら〇〇 プラネタリウム定期投影

森の学校キョロロ 松之山豪雪展+ 豪雪体験プログラム
雪を学んだり、動物や雪虫、冬芽など豪雪の中の生物と出会えたりする催しがたくさん。地味な体験ができます。豪雪地でしか味わえない体験と感動が待っています。

市役所 フォ〜カス 18

十日町市高速情報通信網整備事業 企画提案会取りやめ
市では12月15日付けで、12月26日開催の十日町市高速情報通信網整備事業企画提案会を次の理由により取りやめとしました。なお、今回の企画提案会取りやめによって本事業に大きな支障が出ないように、早急に今後の対応を検討する予定です。

《取りやめ理由》
十日町市高速情報通信網整備事業の企画提案会開催にあたり、3者のうち2者が申し込み締め切り後に枠組み変更の申し入れをしてきました。それ以外にも今回の申し込み事業に関する情報が寄せられており、企画提案会の目的に沿った事業者選定が困難な状況になったと判断しました。

大白倉バイトウ

ケヤキとわらで小屋(バイトウ)を造り、中で囲炉裏を囲んで集落総出の祝事が行われます。最後には小屋を燃やし、立ち上る炎の姿で一年の作柄を占い五穀豊穡を祈ります。大白倉の正月伝統行事です。●日時||1月14日(日)午後6時〜(点火午後8時30分ころ)●会場||大白倉公民館付近●問合せ||川西観光協会(☎768-4951)

初笑い!上野寄席楽集

●日時||1月13日(土)午後2時〜●会場||上野集会所●出演||真打 五街道雲助ほか●入場料||1,500円(当日1,800円)●問合せ||清水フードだいの店・渡貫(☎768-3630)

IHクッキングヒーター 体験料理教室

●会場||東北電力株十日町営業所●参加費||500円●定員||各回12人(申込多数の場合抽選)●申込み・問合せ||東北電力(株)十日町営業所(☎757-1198)

冬野菜をたっぷり使って

漬け菜(ご飯、いも餅のお汁粉、揚げだし大根、白菜くんサラダ

などを作ります。●日時 1月17日(水)午前10時30分〜午後1時
●申込み締切り 1月12日(金)



吉田ふれあいスポーツセンター室内ゴルフ練習場オープン

●期間 4月30日(月)まで ●営業時間 午前10時〜午後8時 ※火曜日と第3金曜日は午後5時〜
●料金 ボール1個10円 ※5、000円・10、000円のお得な回数券あり ●問合せ 吉田ふれあいスポーツセンター ☎752-0670

十日町体力づくり支援センター
年末年始の営業状況

●年末年始の営業状況 12月29日(金)〜1月3日(水)・休館、4日(木)午前10時〜午後5時・初泳ぎ無料開放、8日(成人の日)午前10時〜午後5時・一般開放、14日(日)午後1時〜イベント「限界に挑戦」 ●申込み・問合せ 十日町体力づくり支援センター ☎758-3343



学校給食センター長募集

19年4月採用予定の学校給食センター長(身分・市教育委員候補職員)を公募します。●業務内容 給食センター全体の運営の調整、運営委員会等の開催、庶務・会計、調理・配送管理、施設・危機管理、業務委託など ●採用条件 業務の流れを熟知し、交渉・調整能力、事務能力などを有すること ●勤務場所 市内の学校給食センター ●雇用期間 19年4月1日〜20年3月31日 ●選考日時 2月7日(水)午後1時30分 ●選考会場 中央公民館 ●選考方法 面接 ●申込み・問合せ 2月2日(金) 郵送の場合必着)までに、履歴書(市販のもの)を学校教育課(内線314)に提出

第58回十日町雪まつり オープニングフェスティバル参加者募集

【雪まつりに参加したい人みんな集れ!参加者募集】
「オープニングフェスティバル2007」の舞台で、パフォー



家屋の取り壊しや異動(相続・売買など)の際は手続きを

●対象 ①家屋の全部または一部を取り壊した人 ②売買・贈与・相続などで異動があった未登記家屋(法務局に登記していない建物) など ●問合せ 税務課 課家屋資産税係(内線119)

納税で明るい未来豊かな社会
12月の納税・納付

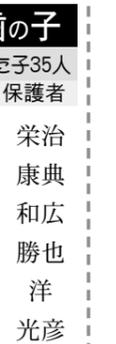
12月は市・県民税第4期、国民健康保険税第9期及び介護保険料第9期の納付月です。期限内に納めましょう。 ●問合せ 税務課・保険年金課



1月の休館日

●中央公民館 1日(元日)〜3日(水)・毎週月曜日
●千手中央コミュニティセンター 1日(元日)〜3日(水)・8日(成人の日)・毎週火曜日

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間の☎には市外局番025が必要です



むし歯のないよい歯の子

本庁で11月の3歳児健診を受けた子35人

よい歯の子	住所	保護者
藤木	(本町5)	栄治
渡邊	(学校町2)	康典
小杉	(田川町1)	和広
瀧口	(田川町1)	勝也
樋口	(新座4-1)	洋
大江	(下町)	光彦
山口	(寿町1)	正洋
村山	(塚原町)	範男
波塚	(塚原町)	泰一
五十嵐	(城之古東町)	富男
児玉	(高田町4)	和成
江村	(大黒沢東)	志郎
樋口	(新宮1)	克利
金澤	(珠川)	福太郎
押木	(元町)	勤
小坂	(野口)	益美
高橋	(田中町)	勉
桑原	(みのり団地)	裕一郎
土田	(上野)	靖雄
村山	(田沢本村)	宏一
田中	(市之越)	忠敏
岡村	(上山)	充由
鈴木	(如来寺)	勝利
小堺	(松代)	国彦

※保護者の承諾を得て掲載しています。

第58回十日町雪まつり ボランティアスタッフ募集

十日町雪まつりの運営をサポートしていただけるボランティアスタッフを募集します。 ●期日・催し 2月16日(金)「オープニングフェスティバル2007」、2月18日(日)「雪まつりゲーム大会」 ●会場 コミュニティひろば ●対象 高校生以上 ●活動内容 演出サポートや舞台設置など ●申込み・問合せ 十日町雪まつり実行委員会事務局 ☎757-3100

市国民保護計画(素案)へのパブリックコメント募集

十日町市国民保護計画策定にあたり、市民のご意見を計画内容に反映させるため、パブリックコメントを募集します。
●意見募集する案件：十日町市国民保護計画(素案)
●募集期間：19年1月4日(木)〜1月31日(水)(必着)
●素案の閲覧場所：本庁防災安全課、支所市民生活課、各公民館、情報館、市ホームページ (http://www.city.tokamachi.niigata.jp/)
●意見提出方法
住所、氏名、電話番号を明記のうえ、修正などの必要な個所のページ及び修正内容とその理由について明記し、持参、郵送、ファックスまたは電子メールで提出してください。(書式は定めません)
●意見の反映
意見集約後、内容検討のうえ計画への反映に努めます。
●提出先・問合せ
〒948-8501 十日町市千歳町3丁目3番地 防災安全課(内線286)
FAX 752-4635 電子メール th-bosai@city.tokamachi.niigata.jp

(金) (火曜休館) ●閉館時間 午後7時(平日) ●問合せ 情報館 ☎750-5100

【福あかね施設名称決定「ワークセンターなごみ」】

関根地内に建設をすすめている障害者施設の名称について、寄せられた105名の応募の中から選考した結果、「ワークセンターなごみ」に決定しました。 ●問合せ 福あかね会なごみの家 ☎752-5212

【困ります!犬のフン公害】

降雪時、犬のフンは大変目立ち、人々に不快感を与えると

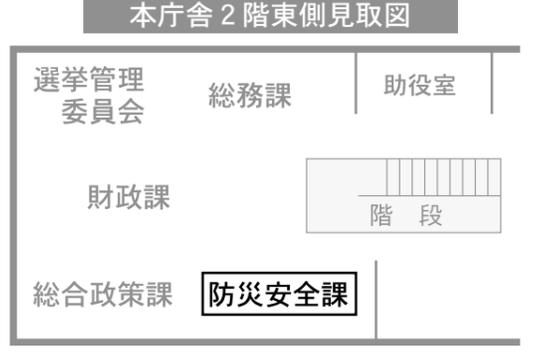
もに、公衆衛生上も好ましくありません。ルールを守り、責任を持って片付けましょう。 ●問合せ 市民生活課生活環境係(内線157)

【市報おわびと訂正】

12月10日号に誤りがありました。①9ページ表紙で「大坪康男さん」と記載すべきを「大坪泰男さん」と記載しました。②17ページアイドルキャッチの中で「小巻沢勇輝ちゃん」と記載すべきを「小巻沢勇樹ちゃん」と記載しました。おわびして訂正します。

防災安全課が本庁舎2階に移転します

1月4日(木)から、震災関係の相談や生活再建支援制度関係の申請などの窓口を担当している防災安全課が、本庁舎2階東側に移転します。 ●問合せ 防災安全課(内線171) ※1月4日以降は内線(286)





とよがまち イチオシ

おもしろ 冬行事

Omashiro winter event map



▼▼▼ 羽根けえし

昔からの雪掘り道具・コシキで羽根を打つ豪快な羽根つき。小正月に上野のサイノカミの後行われます。お手付きするとサイノカミの炭を顔に塗られ、一番黒くなった人が勝ち。3月の雪まつりでも開催。

▼日 時：1月15日(月)午後7時ごろ

▼場 所：上野小学校グラウンド

▼問合せ：川西観光協会 ☎768-4951



いよいよ冬本番。市内の各地域では、冬将軍をけ散らす楽しい冬の催しがいっぱい。伝統ある行事から、地区総出の熱気みなぎるイベントまで、雪国ならではの楽しさ満載。スキーや温泉に加え楽しい行事で寒さを吹き飛ばそう！

ゆきリンピック in あてま

十日町雪まつりに合わせて開設されるベルナティオひろばでは、2月17日(土)にゆきリンピックが行われます。雪ん子かけっこなど雪上で楽しむレクリエーション種目が数多く用意され、大勢の家族連れでにぎわいます。

▼場 所：当間高原ベルナティオ

▼問合せ：当間高原リゾート ☎758-2752

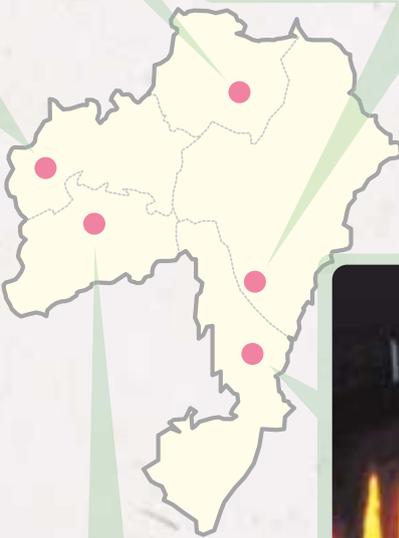


奴奈川雪上大運動会

毎年3月に奴奈川地区6集落の子どもからお年寄りまでが集まる雪上運動会。人間ばん馬レースや、またぐらレース(写真)、1升ビン早飲み競争などユニークな競技がたくさんあり、地区に活気をもたらす運動会です。

▼場 所：奴奈川小学校グラウンド
(3月18日(日)開催)

▼問合せ：松代支所地域振興課 ☎597-2220

十二峠キャンドルロード

中里元気応援隊が中心となり、年末に「ふるさとに帰って来る皆さんを温かく迎えよう」と十二峠の雪の壁にスノーキャンドルを設置しています。山々の雪景色と道路を照らす灯りで、幻想的な世界が広がります。

▼日 時：12月30日(土)午後5時から(予定)

▼場 所：十二峠倉下入口バス停付近
(国道353号線沿い)

▼問合せ：中里支所地域振興課 ☎763-2511



若木迎え

木伐(きり)正月ともいい、山に入って若木や小正月の飾り木などを切ってきます。それを燃やし火や煙にあたりと若返り、1年間丈夫でいられるといわれています。途絶えていた伝統文化を、平成16年に松口集落と森の学校キヨロ口が協力して復活。火にあたりながら身欠きニシンを焼いて食べたり、甘酒を飲んだりする楽しい行事です。

▼場 所：森の学校キヨロ口 (1月14日(日)開催)

▼問合せ：森の学校キヨロ口 ☎595-8311